

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇。なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

第5回郵政ユニオン九州地方委員会開催

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 3725
17年1月31日(火)
・Fax 095-828-1953



おはようございます。
1月29日(日)、郵政産業労働者ユニオン第5回九州地方委員会を、長崎中央郵便局4F会議室で開催しました。

地方委員会は向井副委員長の開会挨拶でスタートし、委員会役員には、委員会書記長に田尻書記長、資格審査委員に福岡中郵支部の仲委員を選出しました。また、大会議長に長崎中郵支部の

山田委員を選出しました。

米地執行委員長挨拶、高口本部長の来賓挨拶と続き、田尻書記長が2017春闘の具体的な行動を提起されました。その後、休憩を挟み質疑、討論へと入っていきました。

今回、地方委員から出された職場の状況等の一部を紹介します。

・現役組合員は一人だが、毎年ストライキに入ってたかっている。職場ではたかいたが浸透しないが、地域の仲間からは郵政ユニオンは期待されている(北九州中央)

・集配営業部の欠区状態が続く、毎日超勤が続いている。要員不足は深刻で20数名欠員状態である。配達区も広がり余裕をもたず仕事が出来なくなり、交通事故が多発している。昨年の定期大会で報告した、バイクの駐車違反問題は当局と粘り強く交渉し解決した。(福岡中央)



・集配の職場はDOSSの入力などすることが多すぎる。期間雇用社員を募集しても集まらない。一つの集配部に集中して交通事故が多発している(糟屋南)

・職場では正社員が不足している。正社員登用試験の応募要件を見直して、希望する期間社員は受験させるべきである(福岡貯金)

・昨年10月に、郵便部で手当等の不払い事案が発覚し、支部として当局に要求書を提出し差額精算に向け交渉を行った。先日やっと回答が来て1月の給与で差額精算が行われた。隣の長崎北局の職場の状況は酷いと噂されている。要員不足もさることながら、管理者のパワハラが横行し

ている。数年前まではこのような噂はあまり聞かなかった事を考えると、ユニオンの組合員が退職し長崎北支部がなくなった事も要因のひとつではないだろうか(長崎中央)

委員会では、この長崎中央の報告に対して「労基署には報告したのか。長崎だけでなく他の大規模区分局でもあっているのではないのか、全国的な問題ととらえるべきでは」と意見がありました。長崎中央支部は「労基署には行っていないが、今後の会社の対応次第では労基署への相談も必要かと思っている。中央委員会で山田委員が報告する」と返答しました。

また今委員会では、職場の状況報告だけではなく、17春闘を各支部がどのように運動していくかも活発に議論されました。出された意見は、今週末、東京で開催される第5回中央委員会で、九州地本の見として報告します。



その後、執行部の答弁が行われたのち採択が行われ、中間決算報告、中央委員会議案共に採択されました。委員会は、最後に米地委員長の開会挨拶と団結カンパニーで、17春闘への積極的な取り組み参加を確認し閉会しました。

委員会後、近くの中華料理店に場所を移し懇親会を開きました。懇親会では委員会でも話されなかった裏話的な話も出され、帰りの列車の時間まで、各々が久々に再会する仲間と交流を深めました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。